

合連盟だより

第27号

平成23年3月1日

題字 故綾部義彦氏
(静岡県家庭婦人バレーボール連盟 第4代 会長)

発行 静岡県家庭婦人バレー連盟事務所 ☎436-0221 掛川市上垂木1061-1

いくつになつても

会長 涠美 みづ

平成二十二年度の静岡県家庭婦人バレーボール連盟の大会や行事が当初の計画通り遅りなく終了することができました。これもひとえにチームの皆さんや、役員、関係の各社各様方のご支援、ご協力の賜と厚く御礼申し上げます。



「とき」の経つのは早いのですね。特にこの頃はスピードが増したようで、アツと言う間に過ぎていきます。と言いながら何も努力しないで、のうのうと生きている自分に気づき唖然とすることがあります。ある書物の中に、「人間の可能性はすばらしい、努力すれば絶対に何事も叶う」とありました。いくつになつても努力しなければと一時は思うのですが……皆さんは如何でしょうか。

昨年の世界バレーのケニヤチームに日本人の監督さんがおりました。学生や実業団の指導を経て、バレー・ボール普及の熱い思いに駆られ、ケニヤ女子チームの監督として

あ
り
が
と
う

理事長 戸塚美代子

二十二年度の行事・大会が無事終了出来ましたことは、協賛各社、チームの皆様の温かいご支援とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

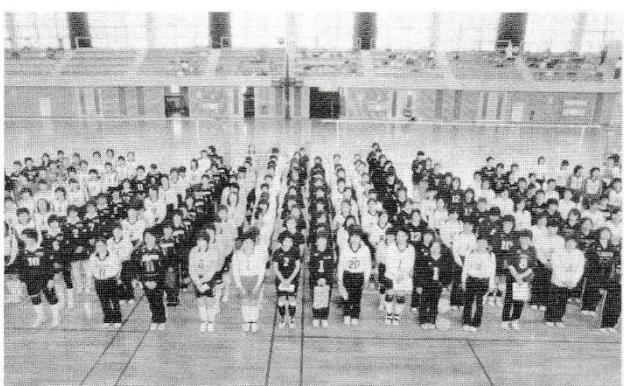
「います」何度も言うと人生が明るくなると何かの本に書いてありました。私の家でも八十六歳になる母は「ありがとーね」とよく言い、夫は「サンキュー」と言います。ありがとうございます。人との心と心を繋ぐ大切なこと

えますと、とても残念に思います。二十三年度も是非多くのチームの登録をお願いいたします。

私の四十五年のバレーボール人生を振り返つてみますと、言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。大好きなバレーボールが今尚出来る喜びは、チームメイトや家族がいるからこそそのことで、本当に「ありがとうございます」です。そして、生涯スポーツとして若い人から七十過ぎた人達までバレーボールが楽しめるように道を開いて下さった諸先輩に感謝しています。

「ありがとうございます」をこれからもいっぱい言って、明るい人生を歩いて生きたいと思っています。今日この頃です。

て、言葉や生活環境、習慣等の違いに悩みながら、家族と共にケニヤに住んでおられます。『生活はギリギリですよ』と漬物をがじりながら話されたその顔は『ケニヤチームの可能性』をひきだしてやろうと生き生きと輝いていました。将来、ケニヤチームは強くなつて監督さんのご苦労が報われる時がきっと来ると思います。



ある年賀状

総務委員長 登 朝子

もう何前になるのだろうか。おそらく十八年前、当時の西部の責任者からの一本の電話から始まった

役員としての日々。振り返ると長いようでも短い歳月であった。その間いろいろなことがあったが、一番の収穫は自分の世界が広がつたことである。西部地区はもちろん、中部・東部地区にも信頼がおける友を得ることができたことは何事にも変えがたいことである。また、総務委員長として東海四県の役員と知り合うこともできた。全国大会へ応援にでかけ、出場チームと連帯感・郷土愛を分かち合えた。この人々との出会いを生涯大事にしたいと思っている。

元旦に「引き継ぐべきものは引き継ぎ、捨てるべきものは捨て、離れるべきものからは離れ、あらゆることを、生徒や保護者の目線に立つてヨクミキキシワカリ・・」「改まるということはいいことだ。少し遠くなつた耳の為にはじっくり聞き、少し見にくくなつた目の為にはよく見・・」との含蓄のある年賀状をいただいた。この一節の「生徒や保護者の目線に立つて」を、「チームの目線に立つて」に読み替えることで、まさに連盟の指針となる文言ではないかと感じた。還暦を過ぎた私自身も、これを座右の銘にしたいと思つたお正月であつた。

微力ながら、チームの皆さんとの目線に立つた連盟運営に努めてまいりたいと思いますので今年もよろしくお願いいたします。

チームのためには

競技委員長 芹澤 みや子

二十二年度の大会を全て無事終了することが出来、皆様のご協力に感謝申し上げます。

競技委員長として常に心がけているのは、大会のスムーズな進行です。選手の皆さんのが理解や協力のおかげで大会に参加することが出来ることを思ふと、何より家で待つ家族の為に一刻も早い大会の終了をと考えて運営に当たらなければと肝に銘じています。

昨年度一昨年度と全国大会が静岡県で開催され、各ポジションの素晴らしい連係プレーで大会を締めくくることが出来、大会運営上の大きな財産を得られたと思います。

年々、体育館の確保が難しく、開催日の変更を余儀なくされる事もあり大変ですが、大会に参加してこそ得られる感動、達成感を一人でも多くの選手に感じてもらえば・・・その為のお手伝いが出来ればと役員になつた時の初心に立ち返り頑張りたいと思ふいます。

審判講習会

審判委員長 垣見 佳子

今年度は、全国家庭婦人バレーボール連盟が編集したガイドラインによる大会運営1年目でした。4月初旬の全国審判講習会で、初めてガイドラインを手にして受講した時、県に帰つて、チームの皆さんにどのように伝達したらいいのだろうと不安に感じたことを今でも思い出します。

毎年、伝達講習会では各チームの皆さんに、ルールの改・修正点をお伝えしてきました。全国から伝達された内容を、どう表現したら皆さんに理解してもらえるだろうか、いつも悩みながらの計画でした。私自身は、年度ごと初心に戻り、新ルールを受け入れていくのが一番いいのではないかと考えています。(失敗も大事なのです。)

今年は、年度途中で記録用紙の変更があつたり、

ルールの細かい点で再確認があつたりしましたが、チームの皆さんのが理解とご協力で、年間の大会を無事終了することが出来ました。本当にありがとうございました。



つぼみくらいは

指導普及委員長 斎藤 徳子

今年もまた、庭の木が大きな花を咲かせました。毎年、根元まで切るのですが、季節がめぐり、その時にになると、大輪を咲かせます

連盟の仕事に携わつて、四期目が終わろうとしています。毎年、毎年、今年が最後だと想い頑張つているつもりですが、なかなか花になりません。いや、咲かなくてもいいからせめてつぼみだけでも・・・仲間という根っこに支えられて、私という木は、来年、五期目を迎えます。うどの大木で終わるわけにはいかないでしょ、小さくてもいいから、つぼみくらいはつけられる仕事をしますよ。みんなのために、私自身のために!

家庭婦人バレーボールに集合

事務局長 橋本 博枝



バレーボールをする人が、年々減っていく中、家庭婦人などはチームを存続させていくのも難しくなっています。九人制バレー 자체が、人気が無いのかも知りませんが、チームプレーということに関しては、これほどおもしろみのある競技はありません。それは、九人制バレーをする人の知るところでしょう。

ルールも家庭婦人独自のものになって、更に普及は難しいかもしれません。でも、初心者でもできる、奥の深い家庭婦人バレーに、気がついてくれることを願っています。

時を重ねて

シニア委員長 平野 富江

社会の高齢化が進む中で、バレーも高い年齢層のチームが年々増えています。

若いころは時間に追われて好きなバレーの練習もままならず、長い時を経て時間に余裕ができ、やつとバレーと向き合えるようになりました。チームは若返り、自分の居場所を探していった時に皆が楽しめるバレーを、と生まれたのがシニアの各大会でした。それが今や全国大会もいそじやことぶきに統一して、七十歳以上を対象としたおふくの大会も開催されるまでになりました。

シニアの人たちも若い人たち同様、全国大会のセントラーコートに立てるという大きな夢を追い、日々の練習に励んでいるのです。

これからも生涯スポーツとして、色々な経験と沢山の思い出を作りながら、ますます元気に頑張っていつて下さることを願っています。

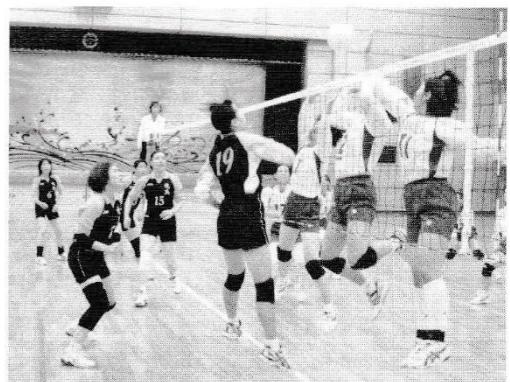
第6回 LAWSON CUP 審判員派遣
向笠 和子

第22回 全国家庭婦人バレーボール
いそじ大会審判員派遣
小澤 圭子 望月 絹枝

第37回 東海家庭婦人バレーボール審判員派遣
田中 ひとみ

東海ブロック審判講習会
期日 平成22年6月20日(日)
会場 磐田市アミューズ豊田

東海ブロックリーダー研修会
期日 平成22年7月4日(日)
会場 津市芸濃文化センター
講師 中島美代子氏(旧姓 広瀬)



第41回 全国ママさんバレーボール大会

C組 準優勝 おめでとう!! 浜松フェニックス

諦めない夢は叶う

県代表となつた時に、今まで支えて来てくれた方々や家族、コーチ、フェニックス結成十八年の間に一緒にプレーをしてきた仲間たち、そして指導はもとより応援・励ましたお世話になりました役員の皆さんには「ありがとうございます」という感謝でいっぱいでした。うれしかったです。全国大会C組準優勝、いつかは全国の舞台に!と思つていた夢がかないました。

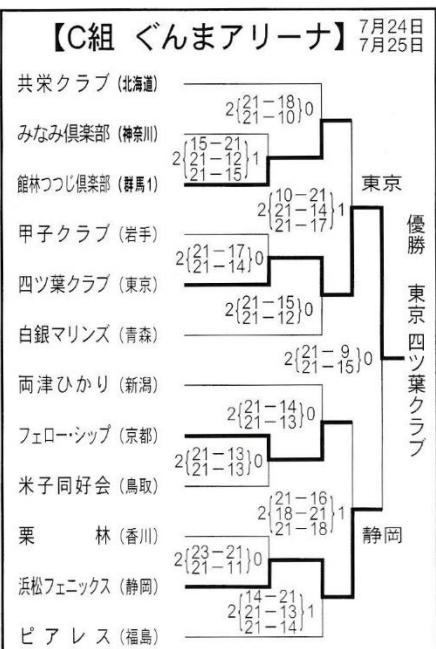
多くの人々の支えがあり、それが私たちの力となつて満足のいくプレーができたのだと思います。猛暑のなか応援に来て下さった役員の皆さんと一緒に頑張ってきてくれたメンバーに感謝します。そしてこれからも楽しくバレーを続けていきましょう。ありがとうございました。

監督 塩澤 明美

今年も県大会と子どもの運動会が同じ日に

昨年あと一步のところで敗れ、悔しい思い、そして子どもたちにも申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。「頑張って!」と送りだしてくれた家族の気持ちに絶対応えなきやいけないと思いました。

全国大会ではこのチームで戦えることの幸せを改めて感じました。ここまで道のりは決して楽ではありませんでしたが、みんなで乗り越えてきたからこそ全国の舞台に立てたのだと思っています。



と思います。

山下 奈保美

浜松フェニックス 静岡県			
番号	氏名	年齢	身長
①	山下奈保美	44	163
②	右田 美子	46	158
③	万由美	27	163
④	河野 明美	49	162
⑤	塩山 萬美	41	165
⑥	山本 誉士佳	26	167
⑦	杉本 千恵	41	168
⑧	本村 佳美	43	157
⑨	村武 恵美	43	157
⑩	久谷 瑞智	27	165
⑪	木池 絵美	26	155

時には悔し涙、そして嬉し涙、バレーボールだけに集中できた4日間は貴重でした。

そして忘れてはいけないのが役員の方々の応援です。私たちの心にしつかり届きました。本当に心強かったです。ありがとうございました。

これに満足せず、新たな目標に向かつて頑張っていきたいと思います。

キャプテン 山本 ゆみ

私が浜松フェニックスに入部したのは、約十三年前。そのころはどの試合でも一回戦負けの弱小チームで、「全国大会」は想像もできない夢のまた夢の話でした。それが今年やっと念願の全国への切符を手にすることができ、メンバーみんなで喜びに浸つたと同時に静岡県代表としての重圧感とプレッシャーに押しつぶされそうにもなりました。しかし、家族やベンチに入れないので、メンバーのサポート、そして遠く群馬まで足を運んで下さった役員の皆様の迫力ある応援のおかげで、C組準優勝という好成績を収めることができました。この成績を誇りに思い、バレーが出来ることを感謝しつつ、体力の続く限りバレーを楽しんでいきたいと思います。

高校時代に汗を流した仲間と一緒に浜松フェニックスへ入部してすぐに全国大会に出場させていただき、本当に幸せでした。

田嶺 右子



これからもみんなで楽しくバレーを楽しめます。

これが全国大会を意識したのが三年前、決勝で負けたのがきっかけでした。「全国大会は夢じゃない!」そう思つたのも覚えていました。今度こそと思いを高めて挑んだ第40回大会。

フルセット一点差で負けてしまい、諦めかけました。その後若いメンバーも増えてチームが盛り上がり、やっと全国大会へ行くことができました。大会では素晴らしい雰囲気のなかバレーができ、大会役員の皆様には感謝の思いでいっぱいです。また、静岡から応援に来て下さった役員の皆様、ありがとうございました。C組準優勝、銀メダル、歓喜感動の四日間、私の一生の宝物、思い出です。

ていきたいです。そして次の目標に向かって練習を頑張ります。

河住 万由佳

「いつか全国大会の大舞台でバレーをしたい」、その強い気持ちが、夢にまで見た全国大会出場につながりました。

開催地の群馬県前橋市まで足を運んで応援をして下さった役員の皆様、そして試合には出られないけど、いつも練習や大会の時にサポートしてくれるメンバーの応援は、本当に「力」になりました。ありがとうございます。

そして家族の協力があつて、大好きなバレーを思う存分させてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。言葉に出来ないくらい感動した四日間を忘れずに、これからも皆と一緒にバレーを楽しく続けていきます。

仲村 佳子

「いつかは全国」もメンバーの年齢が高くなるにつれ、「今年こそ」の気持ちが高ぶつてあと数点で全国行きを逃したこともありました。苦い経験のあと全国大会は、人生で幾度とない楽しい経験をたくさんすることができたと共に褒美をいただけたような楽しい四日間でした。こんなにバレーに情熱を傾ける人たちがたくさんいること、そして全国大会に出場したチームの一員であることをとてもうれしく思います。長年バレーを続けてこられたことを感謝しています。

武 千恵美

全国大会を振り返って一言で言うと「楽しかった四日間」でした。一試合勝つ毎にチーム力が増し、気持ちが一つになり、四日目の決勝まで進む事が出来、良い思い出です。楽しかった四日間を支えてくださった方々に感謝です。また、役員の方々には準

備段階から協力して頂きました。そして群馬まで来て下さり大きな声での声援もとても心強く力になりました。ありがとうございました。

久米 瑞絵

昨年の県予選では準決勝で敗れ、悔しい思いをしました。今年こそ!と全国大会に対する思いは強く、この一年間はバレーに夢中でした。週2回の練習や予選、群馬の四日間と、娘を夫と母に任せっぱなしでした。結果、銀メダルではありましたが、家族がとても喜んでくれた瞬間、ホッとしました。大好きなバレーを思う存分出来るのも、家族の協力があつてこそだと痛感し、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

池谷 智香

ママさんに参加させていただることになり、最初はルールや9人でのプレーに慣れるのに精いっぱいでした。リベロだった私はレシーブしか能がなく、周りのみんなに迷惑にならないようにと考えてばかりいました。

レシーバーはミスをしたらそれまで。アタッカーのように自分で点を取れる人を本当に羨ましく思います。もう少し身長があつたらな・なんて無謀なことを考ぐくらいです。

しかし最近は苦手意識のあつた二段トスも、いかにアタッカーに合わせられるかと考えながらプレーしきるようになります。これからは、もっと自分にできることを確実に、精度を高めていきたいと思っています。

最後になりましたが、この大会を通して色々なことを学び、成長する事が出来ました。支えて下さった

方々に感謝の気持ちでいっぱいです。全国で落ち込んだ時、役員の方々に励ましていただいたこと、今思い出しても涙が出てくる思いです。本当にありがとうございました。

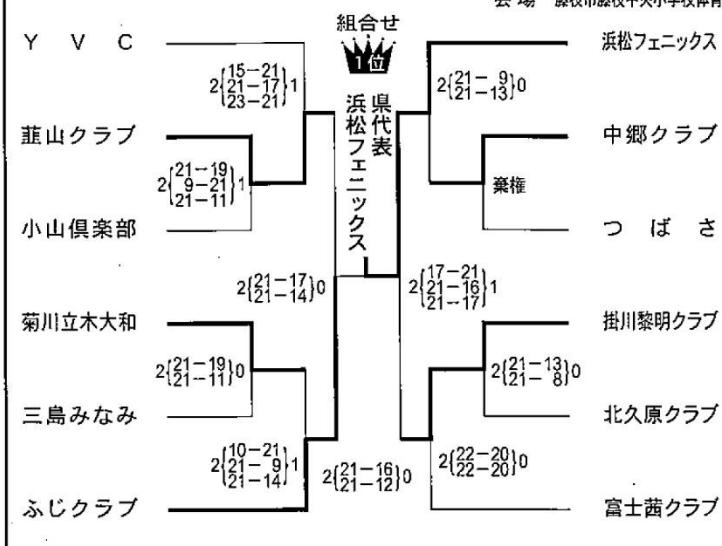
この経験を生かし、これからもバレーを楽しみたいと思います。

鈴木 純美子



第41回全国ママさんバレー大会静岡県予選大会

期日 平成22年5月30日(日)
会場 藤枝市藤枝中央小学校体育館



コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 第34回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

試合も3セット終盤、ネットすれすれの変化するサーブが相手コートの前衛に落ち、ノーダッヂエース！ネット際でその瞬間を目の当たりにしました。その時のチームみんなの笑顔は一生忘されることはないと思います。

家庭婦人バレーボールを始めてからいつもTVで観ていた夢のセンターコート。去年は決勝まで行けたことに感激し、今年は

**コカ・コーラ
セントラルジャパン カップに
出場して**

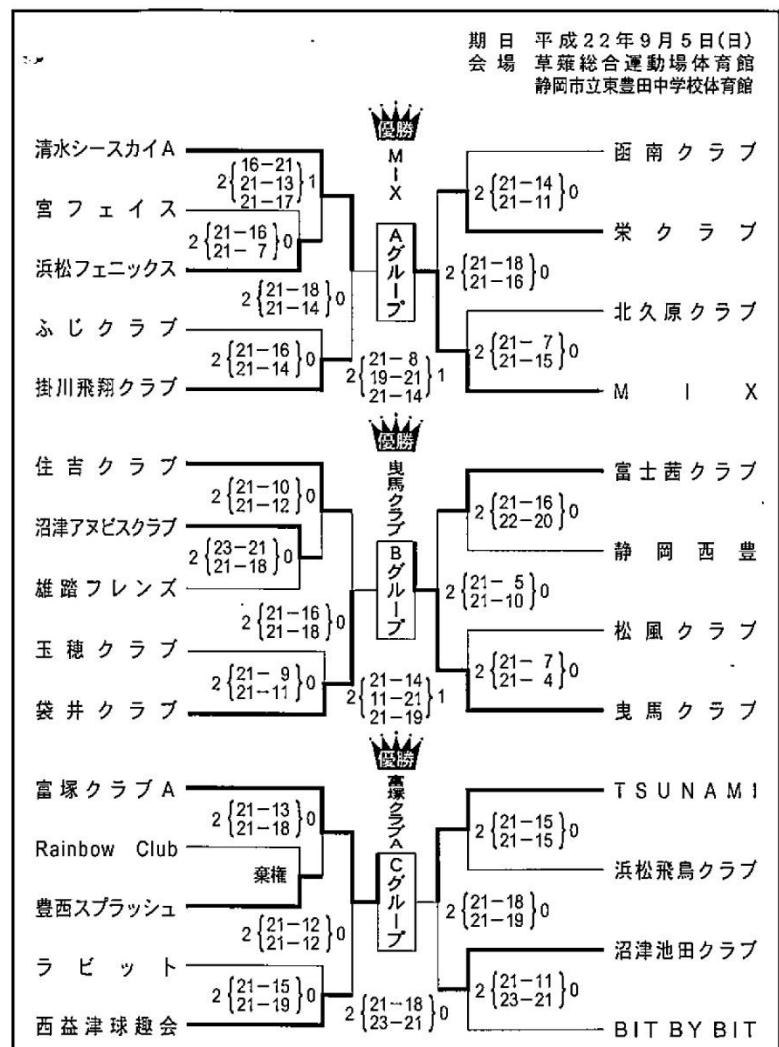
MIX 沖林 静

例年ない猛暑の中でのコカ・コーラ・セントラルジャパンカップ。私達、静岡西豊は、運も味方につけ久しぶりに県大会に出て思つたこと。やっぱり、憧れのセンター

静岡西豊 枚岡 利佳

同じ舞台に立てたことに興奮しました。今年は新しい大きな力が加わり進化し続けるMIXですが、さらに監督はじめチーム一丸となって練習に汗を流し、笑顔溢れる試合が出来るよう頑張ります。

ありがとうございました。



コートでバレーをしたい！憧れが憧れのままで終わることのないように、まだまだこれから：という思いを胸に頑張っていきます。

そして、支えて下さる多くの方に感謝し、仲間を大切にして、バレーを楽しみたいと思います。バレーをやっていて良かったと思えるように。

大会の開催にあたり、役員の方々を始め関係者の皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

特別賞受賞者紹介

東部地区	沢田クラブ	清野 三好
中部地区	球趣会シニア	河守 知世
西部地区	クラブプライム	袴田 登志子

特別賞受賞の知らせをいたいたのは、私が生まれ育った西伊豆の実家に出向いています。バレーボール始めたのが、この伊豆だったのでこれも何かの縁かな…と日々感謝しています。当日草薙体育館で入場行進を見て、昔自分が行進したことや地区大会の担当をしたことが思い出されました。

本大会が長く続いているのは、協賛して下さるコカ・コーラセントラルジャパン(株)様のご理解と、歴代の役員の方々の努力、かつ本大会に寄せる各チームの熱い思いが集積した結果だと思います。仲間と健康である素晴らしさを感じながら、これらもバレーボールを楽しみたいと思っていました。最後にコカ・コーラセントラルジャパン(株)様、連盟の皆様ありがとうございました。

(清野)

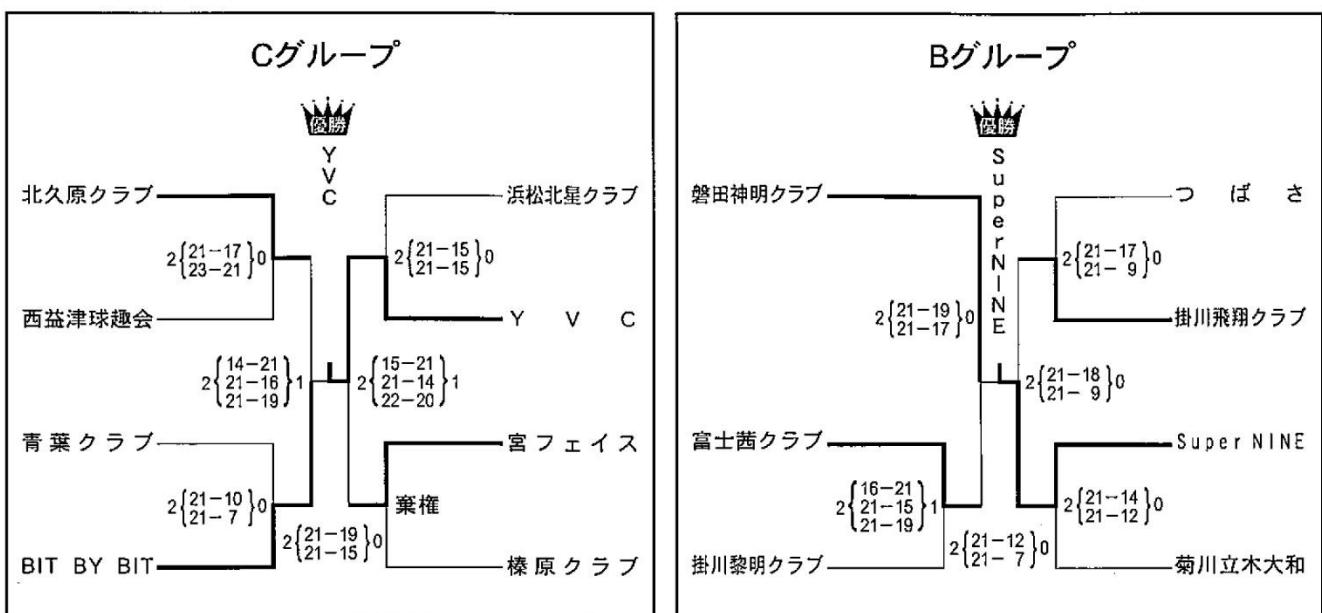
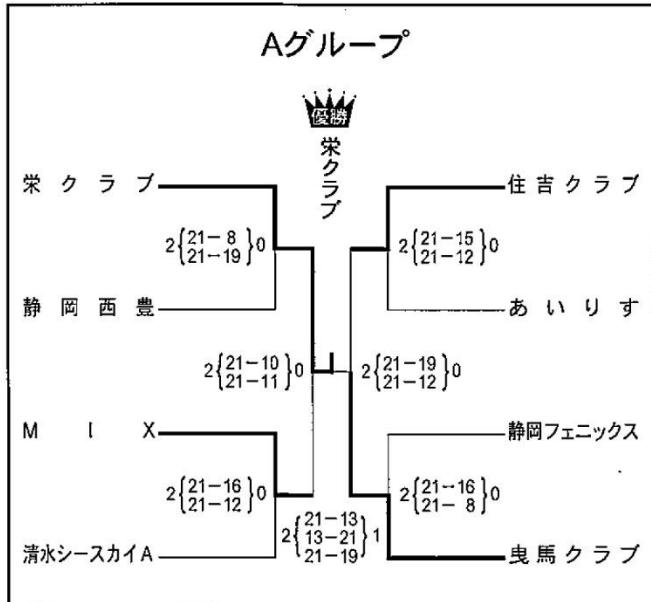
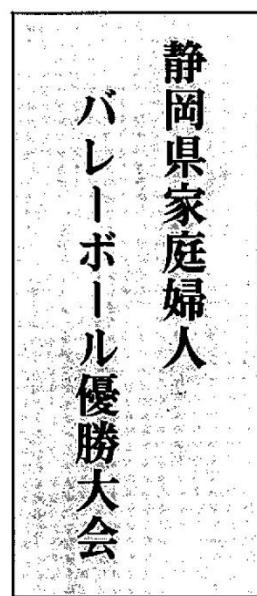
この度は、特別賞を頂きありがとうございました。改めて素敵な仲間達とバレーボールが出来る喜びを感じました。

週に一度の練習は、孫の世話や家事に追われている私にとって、唯一の楽しみです。仲間と思いつきりプレーした後はさわやかな充実感があります。

バレーをしていて、一番うれしかったことは全国大会で鹿児島に行つたことです。この時の感動は、私にとって一生の思い出となりました。

学生の頃、恩師に「バレーは生涯スポーツだからぜひ続けるように」と言われた言葉を今身にしみて感じております。

私たちがバレーを続けられるのは、役員の皆様のご尽力のおかげです。深く感謝しております。(袴田)



第6回 LAWSON CUP 静岡県予選大会 二度目の挑戦!! 清水シースカイA

第4回大会にベスト8で終わつた兵庫県大会。あれから2年。地区・県大会とも、厳しい試合もありましたが、もう一度全国大会に挑戦する切符を手に入れる事ができました。前回のメンバーが9人。新たに加わったメンバーが3人での挑戦です。若い力とベテランの力を融合し静岡の名に恥じないよう、全力を尽くしてきたいと思います。最後に大会に携わるすべての皆様に御礼申し上げます。

清水シースカイA 石川 好美
東部地区大会では決勝まで進み惜しくも2位でしたが、いつも以上の力を發揮し、皆で力を合わせた結果、県大会に出ることが出来たと思います。

県大会は、9人で、中には怪我をおしての参加、ポジション変更などいろいろ不安な点がありつつも頑張ったのではないかと思います。

結果は残念ながら一回戦敗退。
今回でローソンカップの大会は最後のようでも残念ではあります、目標のあ

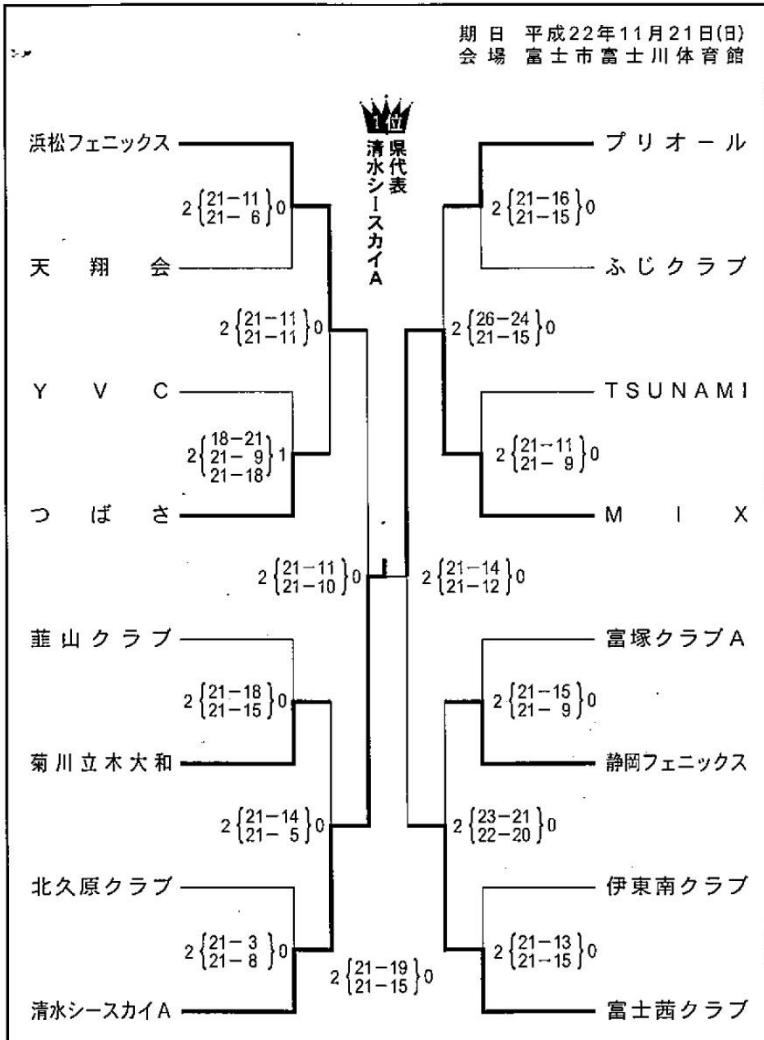
『全国大会にむけて』

清水シースカイA 石川 好美

『LAWSON CUPに出場して』

堺山クラブ 山崎 仁美

期日 平成22年11月21日(日)
会場 富士市富士川体育馆



る大会に参加させて頂き、楽しくバレーが出来たことを感謝します。
チームもまた、次なる目標に向けて頑張ろうと心に決めて：

菊川立木大和 山本 千歳
私達のチームはここ数年でメンバーが若返りバーティーとのバランスを考えながらチームを作つてきました。とは言えまだまだうまくまとまらず試行錯誤の毎日でした。

そして今年がこの大会が最後だと聞いてみんなで全国大会に行きたいね!とメンバーからも声が上がり挑戦してみることになりました。

でも実際は家庭の事情もあり練習にもなかなかメンバーが揃わずチームもまとまらず難しいものでした。そんな私達でしたが、とにかくチームのモットーである楽しいバレーをしようつて話をしました。西部予選ではセッター不在にも関わらずみんな気持ちが一つにまとまって楽しいバレーができた様に思いました。多分、その日のメンバーの顔を見ていただけたらわかつてもらえると思います。

菊川立木大和のモットーである楽しいバレーそのものだったと思います。結果は4位でしたがとつても意味のあるものだつたように思います。

県大会への意欲もあったのですが結果は2回戦で敗退してしまいました。

今回の大会に参加させていただいていろいろな事を学ばせていただきました。家庭婦人という中でバレーをするには家族の理解はもちろんメンバーへの信頼や優しさを持つことの意味をあらためて知られました。それのように思いました。これからも今回の事を心にとどめながら頑張っていきたいと思います。

役員のみなさま、いろいろとありがとうございました。お疲れ様でした。

全国大会

3月24日(木)～27日(日)

広島市 グリーンアリーナ

第37回 東海家庭婦人バレー大会

優勝 岩馬クラブ

東海大会に参加して

岩馬クラブ キャプテン 近知栄美

今年の大会に出場するまでに、岩馬クラブとしてのチーム目標がありました。

それは・・・

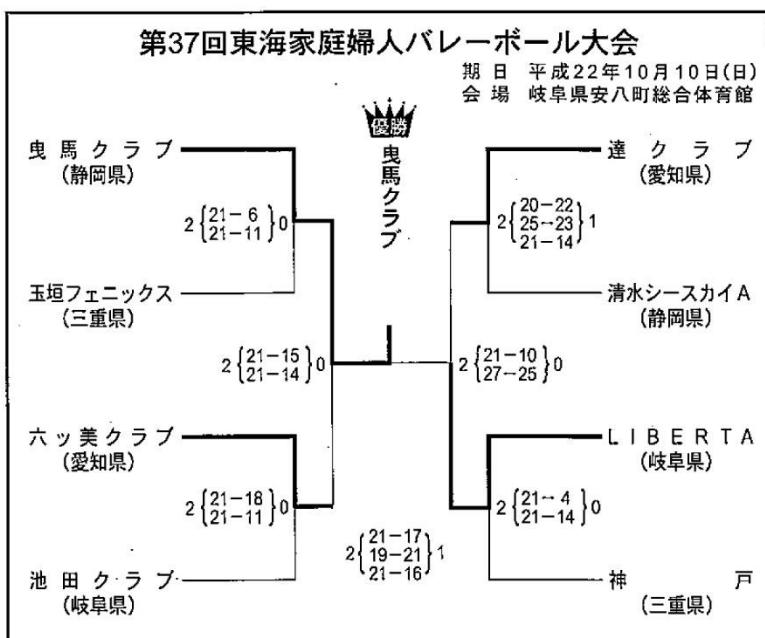
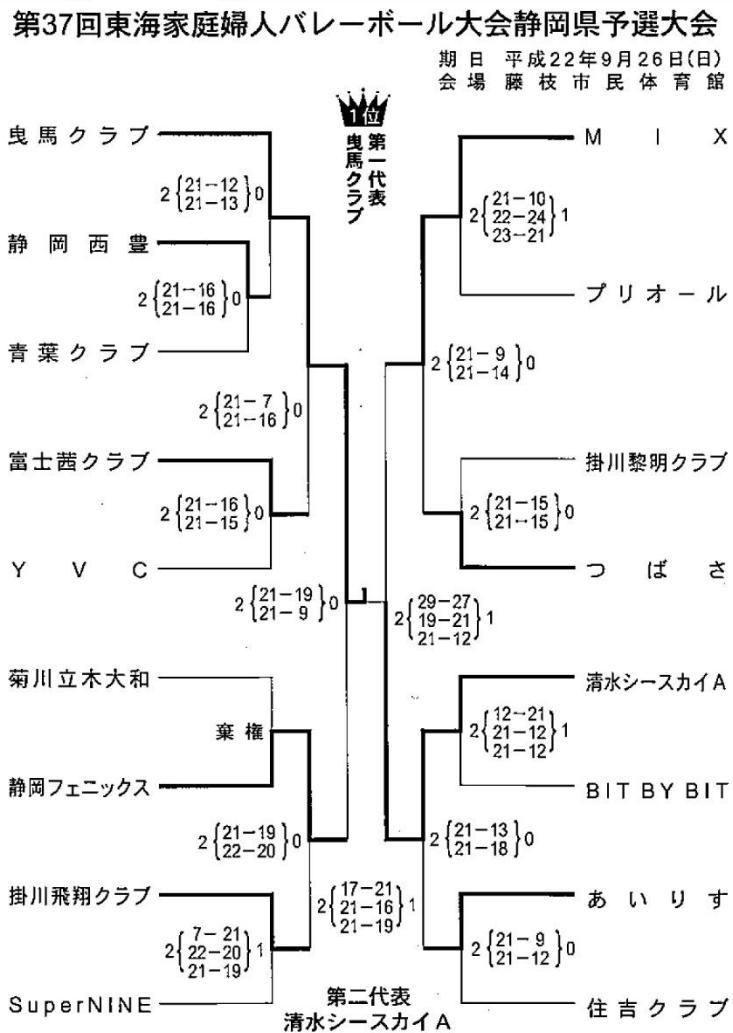
今年の3月に全国大会に出場し、悔しい結果に終わりその大会を機に、選手のこころざしにも少し変化があるようでチームとしてもワンステップしないといけない時期にきているなあ」と感じました。

その後、目標がはつきりとしない期間を経てこのままではいけないと思いチームと

しての目標を掲げました。それが、「東海大会優勝」です。私は、4月からキャプテンという立場になり、いきなりの大目標にかなりビビりました。その後は、監督・コーチの本当に私たちを勝たせたいという愛情が時には厳しく、更に厳しく、なお一層厳しく指導して下さいました。その様な日々を過ごし、大会前日コーチより「明日なんだか優勝しそうな気がする」というメールをもらい、えつ！でも、今思えばそれだけの練習をして、選手全員が「目標達成するぞ！」という気持ちになつていいからだと思いました。

優勝した瞬間は、キャプテンとして何も出来ずというより、ピンチにする場面を自ら作つたりもしてチームみんなに迷惑をかけた分涙がとまりませんでした。

そして、岩馬クラブが東海大会2度目の優勝がとにかく、しかも2度の優勝を経験した選手が多くいることに本当に岩馬クラブの伝統を感じました。ちなみに私もその一人ですが・・・この様な素晴らしいチームでいつもでもプレーができて、家族にも笑顔で送り出してもらえる様、山本監督のお言葉で「常に感謝し・謙虚な気持ちで」を常に思い今後も頑張りたいと思います。

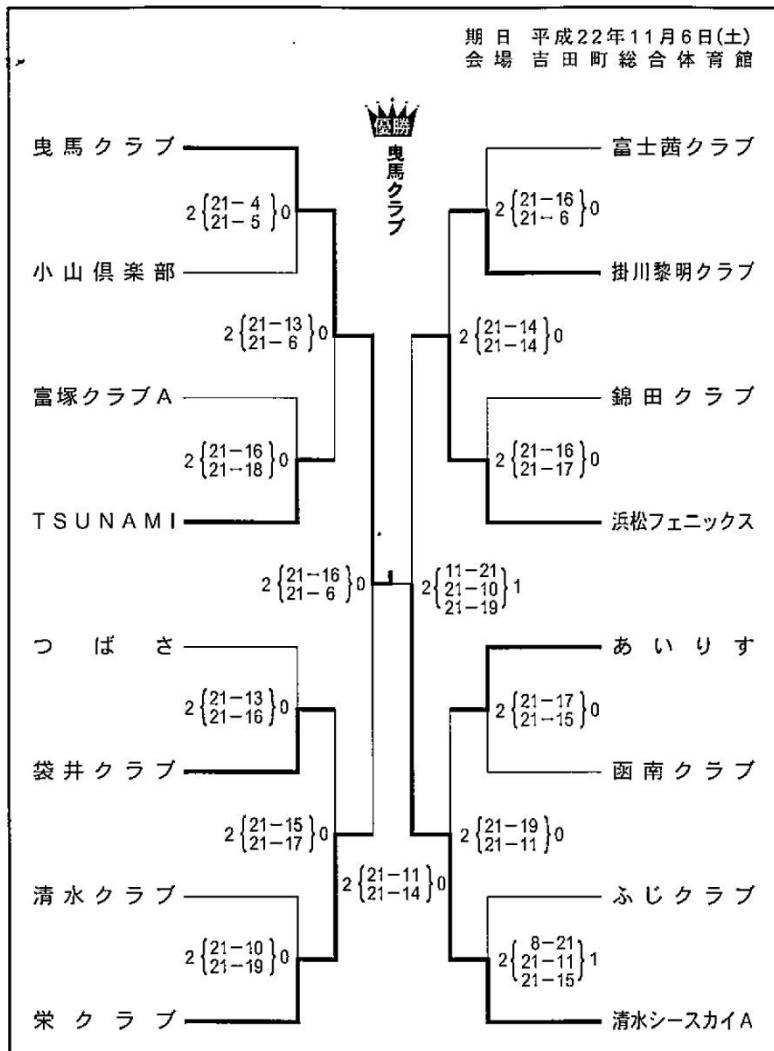


第36回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会

今年9月、私たちの町は大きな台風被害を受け、幸いメンバーに重大な被害はなかったものの、数日間の断水や土日返上で災害ボランティアに出動した人もいました。そのような状況の中で迎えた地区大会でしたが、チーム一丸となつて県大会出場を決めることができました。

私たちのチームは、富士山の麓、神奈川県と山梨県の県境に接する自然あふれる場所にあります。

『静岡県家庭婦人バレー ボール
選手権大会に出場して』



二回戦栄クラブには、負けはしたものの今のチー
ム状況としては満足のいくものでした。
また来年も県大会に出場できるよう家事と仕事を
両立させ、限られた練習時間を有効に使い、バレー
ができるなどを家族に感謝し、仲間たちと喜びを分
かち合えるように頑張りたいと思います。
参加賞でいただいた「もつちり太めん」家族でお
いしく頂きました。ありがとうございました。

袋井クラブ 天羽 仁美
私たち袋井クラブは、家庭の事情でなかなか人数が揃わず、西部予選も9人ギリギリでの参加でしたが、なんとか五位通過で県大会へ出場できることになりました。

函南クラブ 市川 ゆかり 最近の試合では思うような結果が出せず悔しい思いをする事が多いです。練習は週一日ですが、メンバー全員が集まる事もなかなか難しく…東部予選もメンバーやぎりぎりでしたがなんとか県大会へ出場する事ができました。しかし、県大会での結果は二回戦敗退。

函南クラブの従来の持ち味であるオープン攻撃に加えフォワードからの早い攻撃、それを支える守備力がまとまつた時にチームの勝利がつながると思います。来年は県大会で勝ち進んでいくことを目標に頑張っていきたいと思います。

シニアの活躍

「ことぶき 朱薦めいて新潟へ」

第十五回全国家庭婦人バレー ボールことぶき大会

【開催日】 平成二十二年十月十五日～十七日

【会場】 新潟市東総合スポーツセンター他

【出場チーム】 湯々あたみ アザレアB

ひばり

第十三回東海家庭婦人バレー ボールことぶき大会

【開催日】 平成二十二年八月二十九日

【会場】 静岡県磐田市アミューズ豊田

【出場チーム】 ごてんぱふじ ポイント富士宮

三島シワーズB 静岡ビーナス
ウエスタン 紋

浜松なごみ

「ほの国とよはし 愛知にしつどり」 「リリ

第二十二回全国家庭婦人バレー ボールいそじ大会

【開催日】 平成二十二年十一月一八日～二〇日

【会場】 愛知県豊橋市総合体育館他

【出場チーム】 栄

第十八回 東海家庭婦人バレー ボールいそじ大会

【開催日】 平成二十二年十月二十三日

【会場】 三重県津市安濃中央総合公園体育館

【出場チーム】 栄 sing クラブプライム

ちやつきり島田

W・B・K

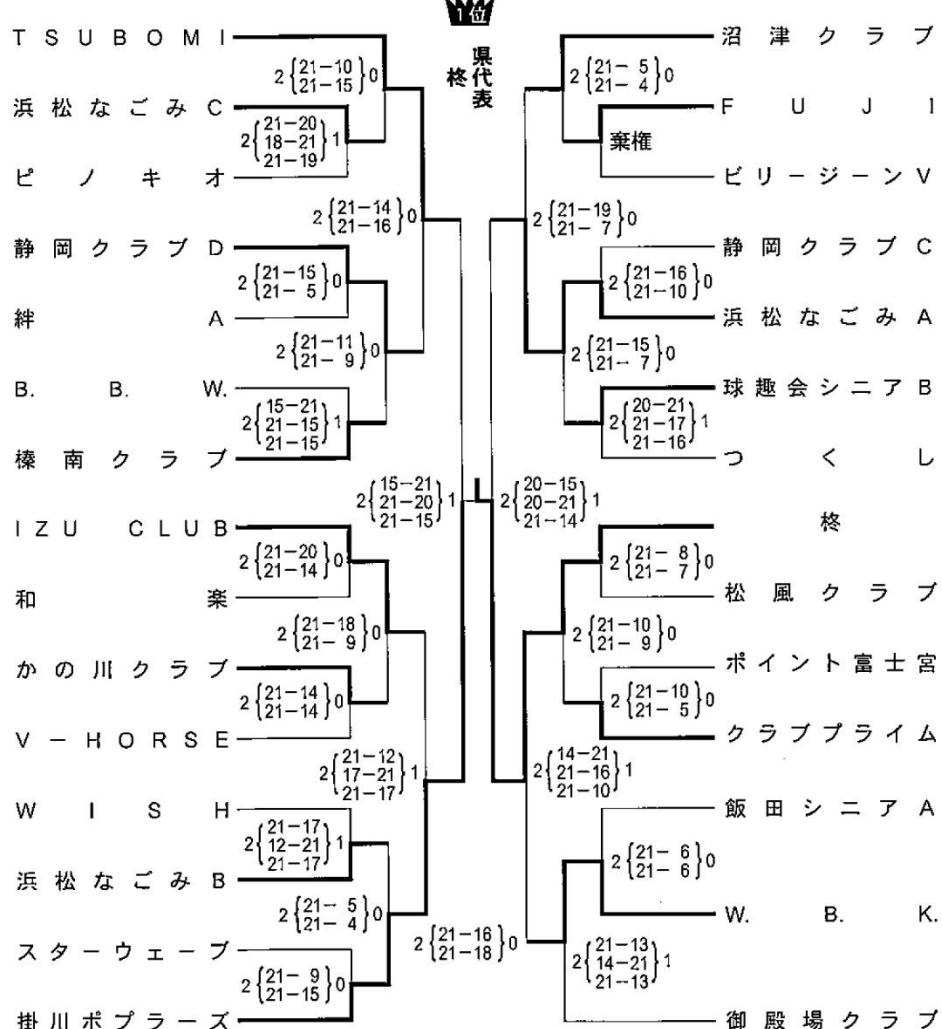
第22回 全国家庭婦人バレー ボールいそじ大会 静岡県予選

期日 平成22年6月6日(日)
会場 吉田町総合体育馆
吉田町立住吉小学校体育馆

第二十二回

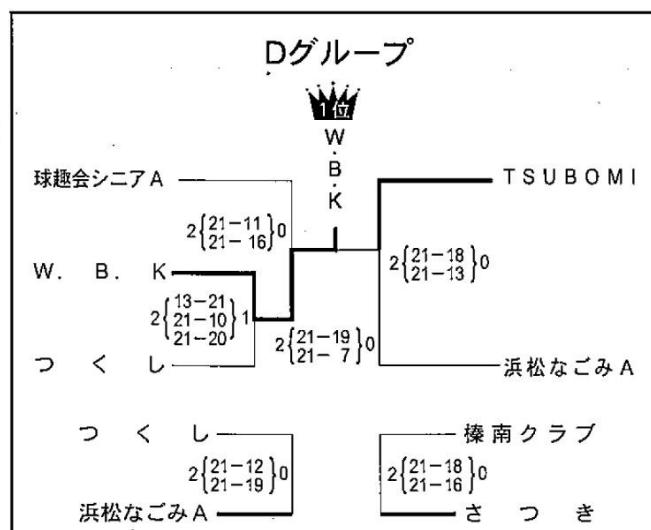
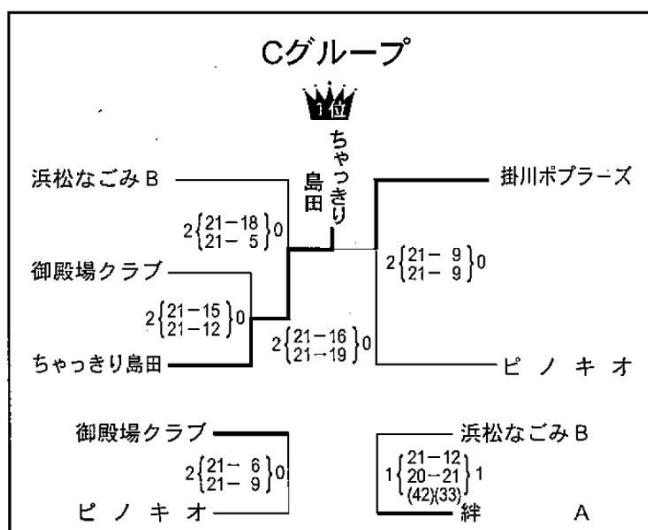
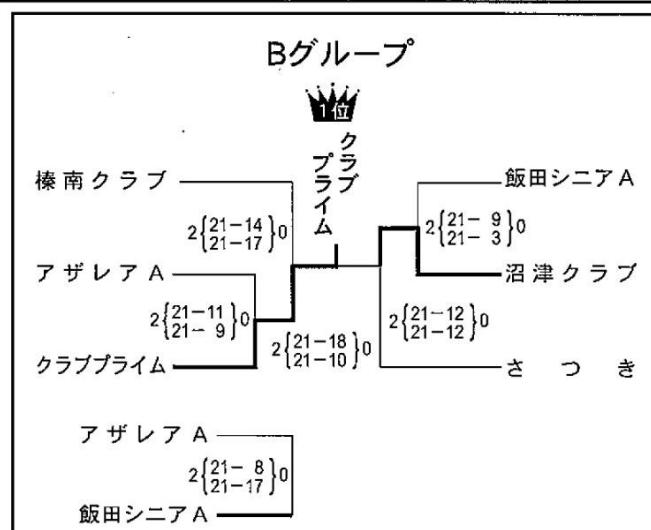
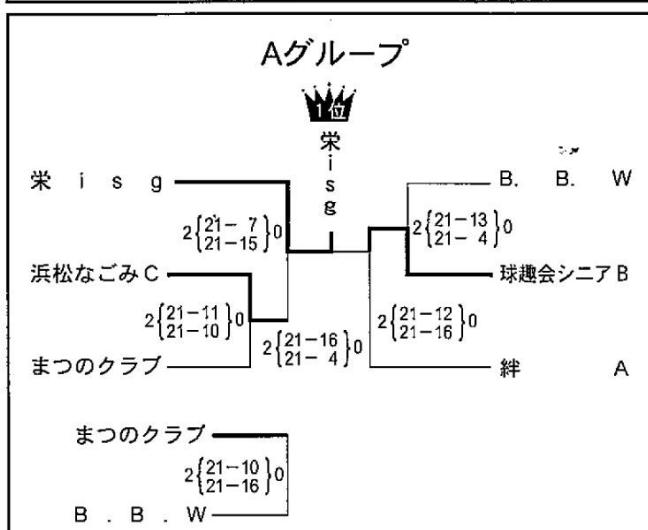
全国家庭婦人バレー ボールいそじ大会

静岡県予選



第18回 東海家庭婦人バレー ボールいそじ大会 静岡県予選 期日 平成22年6月26日(土)
会場 草薙総合運動場体育館

期日 平成22年6月26日(土)
会場 草薙総合運動場体育館



平成22年度 主催・後援 協賛名 社	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">静岡県家庭婦人バレー ボール 優勝大会</td><td>• サッポロビール(株)東海北陸本部静岡支社</td></tr> <tr> <td>第41回記念 全国ママさんバレー ボール 大会 静岡県予選</td><td>• 朝日新聞静岡総局 • 静岡朝日テレビ • (財)静岡県体育協会 • 静岡県教育委員会</td></tr> <tr> <td>コカ・コーラ セントラルジャパンカップ 第34回 静岡県家庭婦人バレー ボール 大会</td><td>• コカ・コーラセントラルジャパン(株) • テレビ静岡 • 産経新聞社静岡支局 • 中日新聞東海本社 • 静岡リビング新聞社 • 静岡県教育委員会</td></tr> <tr> <td>第36回 静岡県家庭婦人バレー ボール 選手権大会</td><td>• 朝日新聞静岡総局 • 静岡県教育委員会 • 静岡朝日テレビ</td></tr> <tr> <td>第6回 LAWSON CUP 静岡県予選大会</td><td>• (株)ローソン • 朝日新聞静岡総局 • 静岡県教育委員会</td></tr> </table>	静岡県家庭婦人バレー ボール 優勝大会	• サッポロビール(株)東海北陸本部静岡支社	第41回記念 全国ママさんバレー ボール 大会 静岡県予選	• 朝日新聞静岡総局 • 静岡朝日テレビ • (財)静岡県体育協会 • 静岡県教育委員会	コカ・コーラ セントラルジャパンカップ 第34回 静岡県家庭婦人バレー ボール 大会	• コカ・コーラセントラルジャパン(株) • テレビ静岡 • 産経新聞社静岡支局 • 中日新聞東海本社 • 静岡リビング新聞社 • 静岡県教育委員会	第36回 静岡県家庭婦人バレー ボール 選手権大会	• 朝日新聞静岡総局 • 静岡県教育委員会 • 静岡朝日テレビ	第6回 LAWSON CUP 静岡県予選大会	• (株)ローソン • 朝日新聞静岡総局 • 静岡県教育委員会
静岡県家庭婦人バレー ボール 優勝大会	• サッポロビール(株)東海北陸本部静岡支社										
第41回記念 全国ママさんバレー ボール 大会 静岡県予選	• 朝日新聞静岡総局 • 静岡朝日テレビ • (財)静岡県体育協会 • 静岡県教育委員会										
コカ・コーラ セントラルジャパンカップ 第34回 静岡県家庭婦人バレー ボール 大会	• コカ・コーラセントラルジャパン(株) • テレビ静岡 • 産経新聞社静岡支局 • 中日新聞東海本社 • 静岡リビング新聞社 • 静岡県教育委員会										
第36回 静岡県家庭婦人バレー ボール 選手権大会	• 朝日新聞静岡総局 • 静岡県教育委員会 • 静岡朝日テレビ										
第6回 LAWSON CUP 静岡県予選大会	• (株)ローソン • 朝日新聞静岡総局 • 静岡県教育委員会										

二年間、編集に携わる中、連盟が発足より現在に至るまでの間、積み重ねてきた歴史の重みと深さを感じさせられたと共に、今年こそ、来年こそ、そしてずっと夢を追い続けるといふ人達の力強さ、バレーへの情熱を感じさせられました。

今あるのは先輩のおかげ、現在いるのは未来へつなげるため：ふと（自分に何が出来るというわけではありませんが）こんな気持ちになりました。

連盟だよりの発行にあたり、多くの方々に御協力いただきありがとうございました。

※※編集後記※※

◆◆ 新規登録チーム紹介 ◆◆

- | | |
|--------|---|
| 《いそじ》 | <ul style="list-style-type: none"> ・W.B.K(磐田市) ・浜松なごみC(浜松市) |
| 《ことぶき》 | <ul style="list-style-type: none"> ・かの川クラブ(沼津市) ・飯田シニアC(静岡市) ・だるま(掛川市) |